

土砂災害防止の避難行動等

土砂災害の危険性が高まったとき、気象情報や現地の情報等を考慮し、状況に応じて村が避難指示等を発令します。発令された避難情報により、適切な行動をとってください。
また、危険を感じたら村の避難情報を待つことなく、自主的に避難してください。

警戒レベル	住民が取るべき行動	村の対応	気象庁等の情報	相当する警戒レベル
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨特別警報 キキクル (危険度分布)	5相当

〈警戒レベル4までに必ず避難！〉

4	<ul style="list-style-type: none"> 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく 台風などにより、暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。 危険な場所から全員避難	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害警戒情報	※2 極めて危険	4相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	※1 大雨警報 洪水警報	非常に危険 警戒 (警報級)	3相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 大雨注意報 洪水注意報	注意 (注意報級)	2相当
1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	早期注意情報 (警報級の可能性)		

気象庁ホームページより作成

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性の高い注意報は、高齢者等避難（警戒レベル3）に相当します。

※2 「極めて危険」（濃い紫）が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。

「特別警報」が発表されたら、以下のようなメッセージを伴う警報が発せられます。

- ・経験したことのないような異常な現象が起きそうな状況です。ただちに命を守る行動をとってください。
- ・この数十年間災害が無い地域でも、災害の可能性が高まっています。油断しないでください。

「特別警報」が発表されないからといって安心することは禁物です。

特別警報の運用開始以降も、警報や注意報は、これまでどおり発表されます。大雨等においては、時間を追って段階的に発表される気象情報、注意報、警報を活用して、早め早めの行動をとることが大切です。